令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された 場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
------------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

云州人に団体の似安								
ふりがな	かぶしきかいしゃ あんえ	うんと	団体ウェブサイトURL					
制作団体名	株式会社アンエンク	ターテイメント	h	https://www.wa-league.com/				
代表者職•氏名	代表取締役 高久照敏							
	〒 104-0061 最寄り駅(バン			東銀座				
制作団体所在地	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階							
電話番号	050-3624-6767							
ふりがな	わだいこぐるー	ふさい		団体ウェブサイトURL				
公演団体名	和太鼓グループ	プ彩 -sai-		https://wadaiko-sai.com				
代表者職·氏名	齋英俊							
	〒 125−0061	最寄	り駅(バス停)	亀有駅				
公演団体所在地	葛飾区亀有3-11-1ミノサンハイツ901							
制作団体 設立年月	2002年10月							
	役職員		団体構成員及び加入条件等					
制作団体組織				体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸 および関係者 員の過半数以上の認可				
事務体制 (専任担当者の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業	担当者名	酒井智彬				
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責	賃任者名	宮田幸子				

制作団体沿革	平成14年10月 東京都新宿区に有限会社マスウェルス設立。(資本金300万円) 平成21年3月 株式会社アンエンターテイメントに名称変更。 日本の伝統芸能(歌舞伎、能楽、邦楽)などの国内振興および国際交流の推進に寄与することを目的として設立。世界70カ国136都市で数々の伝統芸能の公演をプロデュースしてきました。 日本の伝統文化・芸術の国内振興および国際交流に寄与することを目的として活動しています。 国内の小・中・高校で日本の伝統芸能である能楽、狂言、和楽器等の公演・ワークショップを企画制作しております。						
学校等における 公演実績	平成23年より学校公演実績あり 累計 約100公演 (直近) 平成29年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県4カ所 平成30年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県、鹿児島県6カ所 平成31年「附子」「柿山伏」「棒縛」など東京都、岐阜県、千葉県5カ所						
特別支援学校等における公演実績	平成28年、二階堂養護学校(天理市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。 平成29年、東大寺整枝園(奈良市)にて狂言体験ワークショップを実施。 平成28年、七条養護学校(奈良市)・帯広盲学校(北海道帯広市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。 令和2年度 文化芸術による子供育成事業~巡回公演事業~ 山梨県立やまびこ支援学校 令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業~巡回公演事業~ 茨城県立境特別支援学校						
	申請する演目のWEB公開資料	有					
参考資料の有無	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/oejKSegr9wU					
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID: PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 和太鼓グループ彩 -sai-1 小学生(低学年) \bigcirc 小学生(中学年) 対象 小学生(高学年) 0 中学生 楽しいが響きわたる! 和楽器の総合芸術鑑賞会 企画名 1) 大雷山[山田啓吾/作曲] 2) 祭宴 [齋英俊/作曲] 3) 《楽器解説》 4) 金の華 [塩見岳大/作曲] 5) 隠れ里 [酒井智彬/作曲] 7) 小次郎 [齋英俊/作曲] 大太鼓ソロ「鈴木海/作曲〕 【休憩·換気】 本公演演目 8) 晴れ囃子 [酒井智彬/作曲] 9) 烈火 [酒井智彬/作曲] 10)《和太鼓体験》 原作/作曲 11)《講演/質問コーナー》 脚本 12) 叶 [葛西啓之/作曲] encore) まつりだ、まつりだ、おまつりだ~!! [齋英俊/作曲] 演出/振付 ※事前ワークショップで和太鼓体験した皆様にご登壇いただき 和太鼓グループ彩メンバーと共演することも可能です。(事前応相談) 公演時間 約90 分 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 該当なし 該当コンテンツ名 著作権、上演権利等 Ø 該当事項がある 許諾状況 権利者名 許諾確認狀況 和太鼓をはじめとする多様な和楽器・日本各地に伝わる様々な伝統的な奏法からなる和太鼓グループ彩の楽曲を鑑賞いただきま す。「**楽器解説**」では、伝統芸能に対する理解を促すことができるよう、和楽器の文化的・歴史的背景を知っていただきます。さらに 演目概要 「和太鼓体験」では、実際の和太鼓に触れ、音色や音の響きを楽しい実体験から学んでいただきます。 *別添あり (1)多様な和楽器の材質・形状・発音原理・奏法などの違いが分かりやすいこと (2)様々な和楽器の独奏や組み合わせによるアンサンブルが構成されていて、その音楽の構造を捉えやすいこと。 演目選択理由 (3) 伝統的な音階や伝統的な奏法から、伝統的な音楽の多様性や曲想を感じ取りやすいこと。 (4) 多様な音楽の表現・和楽器の文化的・歴史的背景を体験から実体験から学びやすいこと。 和太鼓体験にて、児童・生徒様に楽しく音楽活動にご参加いただきます ステージ上にて、15~20名程度の代表者に、簡単な和太鼓の打ち方、リズム遊びを行い、その場で覚えた簡単な楽曲を実際に演 奏していただきます。体験の最後には、演者と児童・生徒様全員で合奏を行います。 児童・生徒の共演、 太鼓を演奏しない児童・生徒様につきましては、リズムの伝統的な口伝法である"口唱歌"や"手拍子"でご参加いただき、会場全 参加又は体験の形態 員で音楽活動の楽しさを感じることができる体験を行います (マスクの着用やアルコール消毒など、万全の感染症対策の上、体験活動を行わせていただきます。) 齋英俊/塩見岳大/渡辺隆寛/ 酒井智彬/鈴木海/尾関龍河/出身地に応じて、和太鼓グループ彩メンバーををもう1名追加 出演者 計7名 *別添あり 本公演 従事予定者数 出演者: 名 積載量: 2 6 t. (1公演あたり) 運搬 ※ドライバー等 スタッフ: 3 1 名 車 長: m 訪問する業者人数含 7 台 数: 2 合 計: 名 台 J.

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		0		時間程度		
	到着			仕込み	上演	内休憩	撤去		退	出
	9時			9時~12時	13時~14時30分	10分	14時40分~ 15時55分		16時	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。									
本公演			月	7月	8月	9.	月	10月		
実施可能日数目安		20	日	18日	20日	19	日 19月		日	
※実施可能時期について	24 核铅体	11	月	12月	1月	計		152 🗆		
定後に確認します。(大幅が	す。(大幅な変更は認		日	20日	20日	#T		153日		
められません)		※平日の実施可能日数目安をご記載ください。								
児童・生徒の 参加可能人数		本公演		共演人数目安		15~20名				
				鑑賞人数目安		1000名程度まで。/会場の大きさによる。				



(図1)体育館での演奏イメージ 体育館のステージを活用し、演奏を 行います。

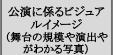
ステージの大きさや学校の荷物の置 き状況によっては、ステージ前方5m ほどの床面を使用いたします。 ステージを利用できない場合は体育 館の床面使用で調整可能。

(事前、応相談)



(図2)ステージと児童の関係位置 基本的にステージで演奏を行うた め、体育館の床面は、児童・生徒様 の鑑賞スペースとしてご利用いただ けます。

座り方に関しての指定はございませ ん。パイプ椅子や防災頭巾など、ご 希望に合わせて、鑑賞いただけま す。



※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。



(図3)和太鼓体験イメージ ステージ上もしくは、ステージ前方の 床に和太鼓を並べ、体験いただきま

演者も大太鼓や篠笛や桶胴太鼓で 参加し、体験の最後には児童・生徒 様と合奏を行います。



【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

児童・生徒の ワークショップ 参加人数目安 120名 (一学年) 程度まで 参加可能人数 標準60分(調整可能) 和太鼓の体験活動を行います。 【内容】 ① 発問・和太鼓の演奏実演(5分) 「和太鼓はどのような音のする楽器なのか」という発問を投げかけた上で、演者が和太鼓の演奏を行いま ② 講義(5分) 子供たちと演者のコミュニケーションから、会場全体で和太鼓の特徴を導き出します。 和太鼓がなぜ現代まだ受け継がれてきたのか、子供たちが導き出した楽器の特徴と古来の和太鼓の用途 の関連性から文化的・歴史的背景を知っていただきます。 ③ 体験活動(30分) ・和太鼓の構え方・打ち方を解説した後、実際に子供たちが和太鼓の音出しに挑戦します ・伝統的な口伝法である"口唱歌"を用いてリズム遊びを行い、和太鼓で実際にリズムを演奏いただきま ワークショップ 実施形態及び内容 ・"口唱歌"を用いながら、2つのリズムからなる簡単な楽曲の練習を行います。 ④ 発表会(10分) いくつかのチームに分かれ、和太鼓体験の成果発表を行います。 子供たちに覚えていただいたリズムは、伝統楽器「篠笛」の奏でる旋律に合うようにできており、演者と子 供たちの合奏で成果発表します。 ⑤ 感想共有・まとめ(10分) 数人でグループを組み、グループ内で感想の発表会を行います。幾つかのグループには、全体に対して 発表を行い、学習を振り返ります。 子供たちに、自国の伝統や文化に対して、積極的に学びたい・知りたいと思っていただくこと、そして親し みを持っていただきたいと考えています。 しかし、日本の伝統楽器である和太鼓に触れたことがない子供たちが多く見受けられます。まずは「和太 鼓がどんな音をするのか」という疑問を投げかけ、演奏をご覧いただきます。楽器の音色の特徴(音の響き や大きさ・振動)について、演者と子供たちのコミュニケーションから導き出します。 捉えた特徴がどのよう に和太鼓の保存・継承に寄与してきたのか、文化的・歴史的背景を知っていただき、自分たちにとって身 ワークショップの 近な楽器という親近感を持っていただきます ねらい 体験では、はじめて和太鼓に触れる興味・関心を大切にしながら、和太鼓の鼓面(動物の皮)や太鼓の縁 (木)を打った時の音の違いなど、それぞれの音の響きを実体験から学んでいただきます。 発表会では、他生徒と音を重ねること・人の出す音聞くなど活動から音楽の"楽しさ"を感じていただきま す。ワークショップを通し、和太鼓の響きを実体験から学ぶことから、楽器のアンサンブルから生まれる音 楽の多様性を感じることができる感性を刺激し、本公演をより一層お楽しみいただけます。 (図4)ワークショップに係るビジュアルイメージ 体育館の床面に和太鼓のならべ、ワークショップを

その他ワークショップに 関する特記事項等



実施いたします。

<その他>

地域の伝統芸能が盛んな実施校やすでに和太鼓を 使って授業を行なっている学校もございます。小学 校・中学校・高等学校の教諭一種免許状を取得して いるメンバーが事前相談の上、それぞれの実態に 合ったワークショップをご提案することも可能です。

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

i)離島・へき地等における公演実績

1999年から世界全70か国で公演・文化交流事業を実施。

日エクアドル外交関係樹立100周年記念レセプション(2019年)では、ガラパゴス諸島において 日本人初の公演活動行った。

ii)離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や, 小規模な公 演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】

- ・本企画は本来7名構成ですが、人数を6名で上演できるよう全ての演目の編曲を行い、十分に 公演のねらいが達成できるものにいたします。
- ・和太鼓や篠笛をはじめとする和楽器は、音響などの舞台設備が発達する前より、演奏されてき た楽器であります。それ故、演奏は生音でも対応可能です。さらに複雑な舞台装置などは使用 しないため、どの学校にもある体育館のステージや床面を使用のみで公演の実施が可能です。 このように学校の最低限の設備で実施が可能となります。
- ・通常、和太鼓は材質が木でできており、重量があるため、長距離の運搬には不向きです。しか し、従来の楽器の重さを軽減した海外・へき地用の軽量化された和太鼓を所持しています。そ のため、航空機や船舶での移動が通常に比べ容易となります。また、通常よりも輸送経費を削 減できるため、学校の希望に応じて、ワークショップ等で使用する和太鼓の数を多く輸送するこ とができます。
- ・離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域では、独自の伝統芸能が盛んであることが 多く見受けられます。 地域や学校の事情に合わせた公演を実施できるよう、日本の民俗芸能や 神楽のフィールドワークの実施経験のあるメンバーが事前の打ち合わせをさせていただきます。

【質を保つための工夫】

離島・僻地の場合の生徒児童数は少数であるという前提のもと、

・和太鼓・篠笛をはじめとする和楽器は楽器の特性上、生音で演奏可能なため、音響などの舞 台設備がない場合でも、通常と遜色ない演奏をお届けできます。

- ・本企画は本来7名構成ですが、6名で上演できるよう全ての演目を編曲し、十分に公演のねら いが達成できるようにいたします。
- ・離島やへき地への楽器の輸送は航空機や船舶を伴うものが多くなりますが、海外公演のノウ ハウを活かし、楽器の運搬効率や梱包の方法を工夫し、楽器の輸送数・安全性を確保いたしま す。
- iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫
- 通常の和太鼓セットは重量があり、輸送する場合、多くの費用が発生します。しかし、従来の重 さを軽減した和太鼓セットを手配することが可能ですので、経費削減を見込むことができます。 ・本企画は本来7名構成ですが、学校の大きさや児童数は少数であるという前提のもと、演者を 6名構成いたします。人数を削減しても同様の演目をお届けできるよう編曲を行い公演のねらい を達成できるものにいたします。
- 演奏を生音で構成する、もしくは学校の機材をお借りして実施することができますので、音響 機材費用や音響人件費を削減いたします。

C区分で事業を 実施するに当たっての 工夫

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

和太鼓をはじめとする多様な和楽器・日本各地に伝わる様々な伝統的な奏法からなる和太鼓グループ彩の楽曲を鑑賞いただきます。

「楽曲演奏」では、伝統的な楽器を用いた音楽の多様性・楽しさ・奥深さをお届けし、自国の伝統文化を積極的に学びたい・知りたい、と思える「きっかけを作り」に貢献いたします。

「和太鼓体験」では、実際に和太鼓に触れ、音色や音の響きを楽しい実体験から 学んでいただきます。リズムの伝統的な口伝方"口唱歌"にも挑戦いただき、会場 全員で音楽活動の楽しさを感じることができる機会を提供いたします。

「楽器解説」では、和楽器の種類や歴史を解説し、その文化的・歴史的背景を知っていただきます。伝統芸能に対する理解を促すことができるよう、対象学年に応じて分かりやすく、お届けいたします。

「講演・質問コーナー」では、様々な経歴を持つ演者(別添参照)が、自身の経験について語るとともに、子どもたちと演者のコミュニケーションを通して、"夢を持つこと" "チャレンジをすることの大切さ" をお伝えさせていただきます。

1) 大雷山 (だいらいさん)

事前ワークショップにて児童・生徒様に体験いただいた「長胴太鼓」の響きにこだ わった大迫力なオープニング曲。

戦国時代には陣太鼓として用いられた「長胴太鼓」の音の響きや振動を感じることができます。

項目内容(演目概要)





2) 祭宴 (さいえん)

日本の伝統的な横笛である「篠笛」を用いた軽快な一曲。 伝統的な音階を奏る篠笛・担ぎ桶太鼓・長胴太鼓・複数の太鼓打つセット打ちが 織りなす和楽器のアンサンブルをお楽しみいただけます。手拍子で会場全体を 盛り上げます。

3)《楽器解説》

「長胴太鼓・桶胴太鼓・締め太鼓・篠笛・能管・チャッパ」などの多様な和楽器の種類や歴史を解説し、和楽器の文化的・歴史的背景を解説いたします。 伝統芸能に対する理解を促すことができるよう、対象学年に応じて分かりやすく、お届けいたします。

]

リンク先 No.2

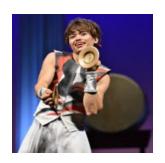
【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

4) 金の華

東北地方の芸能や神楽にて用いられるチャッパという伝統的な金属楽器を用いて、コミカルなショートコントのような演奏を行います。チャッパ奏者による音のキャッチボールは、子どもたちの豊かな想像力を刺激します。伝統的な奏法に基づいた音使いにも注目です。





5) 隠れ里 (かくれざと)

伝統的な横笛である「篠笛」を用いた日本の情景を表現します。古くから歌舞伎などの演目では情景を表すために、「篠笛」が用いられてきました。日本の由来の音階で表現した日本の山々やお祭りの情景をお楽しみいただきます。

項目内容(演目概要)

6) 大太鼓ソロ(おおだいこソロ)

鼓面の大きさは1mを超える大太鼓のソロ演奏を行います。面の打つ場所や、打法(正面打ち・八丈島に伝わる横打ち)の違いよって、変化する音をお楽しみいただきます。1打打つごとに体に振動が伝わり、和太鼓の音色を存分に体感できる楽曲です。



]

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

7) 小次郎(こじろう)

能楽にて用いられる「能管」という伝統的な横笛を用います。「能管」は、「篠笛」と 違い、正確な音程がないという特徴があり、横笛の違いよる音階・音色の違いを お楽しみいただけます。

「能管」とこれまで演奏してきた多様な楽器のアンサンブル・多彩な表現を駆使し、日本固有の音楽文化である「間」を体現いたします。それぞれの楽器の音色・響きの違いを体感していただきながら、思わず息を飲んでしまう 「間」の世界へ誘います。





項目内容(演目概要)

【休憩·換気】 10~15分間

8) 晴れ囃子(はればやし)

滋賀県甲賀市水口地域に伝承される水口囃子の楽器構成や独特のリズムを参考に再構成した楽曲。演者がその場で曲の進行を決めるといった祭囃子ならではの即興性やお祭りでのトランス状態を再現し、お祭りの空間をつくりだします。





リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

9) 烈火(れっか)

長胴太鼓の様々な奏法を交えた一曲。長胴太鼓は、日本の民俗芸能の中で広く 用いられ、伊豆諸島にて伝承される太鼓を横にして演奏する"横打ち"や埼玉県 秩父地方の屋台の中で演奏される"屋台打ち"など、地域により様々です。様々 な長胴太鼓の奏法を多様性溢れる日本の民俗芸能由来の音楽表現をお届けし ます。



10)《和太鼓体験》

項目内容(演目概要)

児童・生徒様に楽しく音楽活動にご参加いただきます。ステージ上にて、15~20名程度の代表者に、簡単な和太鼓の打ち方、リズム遊びを行い、その場で覚えた簡単な楽曲を実際に演奏していただきます。太鼓を演奏しない児童・生徒様につきましては、リズムの伝統的な口伝法"口唱歌"や"手拍子"でご参加いただき、会場全員で音楽活動の楽しさを感じることができる体験を行います。

(※児童・生徒様がステージに上がる際には、マスクの着用やアルコール消毒など、万全の感染症対策の上、体験活動を行わせていただきます。)



リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

11) 《講演/質問コーナー》

様々な経歴を持つ演者が、自身の経験について語るととも児童・生徒様と演者のコミュニケーションを通して、"夢を持つこと" "チャレンジをすることの大切さ" をお伝えさせていただきます。

また、質問コーナーでは、和楽器に関することはもちろん、普段なかなか出会うことのないプロの邦楽器奏者や仕事内容について、深く知っていただき、幅広い世界をお届けいたします。





12) 叶

項目内容(演目概要)

日本太鼓協会主催「東日本大会」の優勝曲として、各方面からご好評いただいている和太鼓グループ彩の代表曲。演者全員が出演し、大規模な和太鼓のアンサンブルを行います。隣同士の太鼓を打つというアクロバティックな奏法を用いて、 躍動感ある和太鼓演奏を視覚的・聴覚的に楽しんでいただける楽曲です。



encore) まつりだ、まつりだ、おまつりだ~!!

日本各地に伝わる民謡や盆踊りのリズムから構成されるお祭りの一曲。公演の最後は、児童・生徒様と一緒に「掛け声」や「手拍子」で楽しく締めます。ご希望に応じて、事前ワークショップの参加者から20名程度、ステージに上がっていただき、和太鼓グループ彩メンバーと共演することが可能です。

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

公演配布資料(全4ページ分) 下記は令和4年度子供育成推進事業(巡回公演事業)にて配布



項目内容(演目概要)

文化芸術による子供育成推進事業一巡回公演事業一

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが個れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることもり、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の同成、将来の芸術家の同成や国民の芸術鑑賞能力の同上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演ではできるだけ子供たちにも参加してもらいます。



図. 配布資料1ページ目

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

公演配布資料(全4ページ分) 下記は令和4年度子供育成推進事業(巡回公演事業)にて配布



はじめに



日本の太鼓「和太鼓」は日本の伝統的な打楽器です。和太鼓は、時代に合わせ、様々な役割を担ってきました。時には、情報伝達手段として、時には、時間を伝える時計として、時には、音楽を奏でる楽器としての役割を持ち、時代を超え、人々に愛されてきました。

これから自の前で繰り広げられる和太鼓の演奏は、「組み太鼓」 と言われるもので、約60年前に誕生した新しい演奏形式です。 日本各地に伝承される様々な和太鼓の奏法やリズムからなる アンサンブルを、自で見て、質で聴いて、管の振動を体で懸じて ください。





項目内容(演目概要)



では、「和太鼓」はいつ誕生したのでしょうか?

その歴史は古く、縄文時代(人々が竪穴式住居に住み、土器を作り、狩や漁をして暮らしていた時代)のころから日本に存在したと言われています。

編文時代~舌墳時代には、お祈りや情報伝達の手段として和太鼓が使われていたと考えられています。実際に、長野県の遺跡からは、動物の皮を装って太鼓として使用されていたと考えられる主義が見つかっています。

型機太子が活躍した飛鳥時代には、「時」を知らせる道具として使われていました。

貴族たちによって日本の伝統的な文化が育まれた平安時代には、「雅楽」という日本の営業 音楽の中で使われるようになりました。さらに、その音量の大きさから、戦での情報伝達や 味方を鼓舞する「陣太鼓」としても使われ始めました。

その後、室町時代には「能楽」、江戸時代には「歌舞伎」・「長頃囃子」という古典芸能の中で使われるようになります。また、時を知らせる時報や相撲や芝居、お祭りの音楽である祭囃子や盆踊りなど、人々の生活の様々な場面で、和太鼓が使われるようになりました。

歴史を振り返ってみると、和太鼓は日本の歴史と密接に結びつきながら、発展してきたことが分かります。

囚, 即川貝(1747) / 口

リンク先 No.2 【公演団体名 和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

公演配布資料(全4ページ分) 下記は令和4年度子供育成推進事業(巡回公演事業)にて配布



項目内容(演目概要)

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【演目概要】

公演配布資料(全4ページ分) 下記は令和4年度子供育成推進事業(巡回公演事業)にて配布



項目内容(演目概要)

和太鼓グループ彩 -sai-

2005年、東京大学にて結成。当初は大学のサークルとして活動を開始しました。 大学卒業後は一般企業に就職したものの、夢を諦めきれず、2013年、会社を退職しプロとして活動を開始。

プロになってからは、和太鼓のみならず、 篠笛や能管・チャッパなど様々な和楽器を用いた和楽器の演奏集団へと進化。

独特の経歴を活かした斬新なパフォーマンスが結構を呼び、2015年、全国ツアーを実施。
2018年、曾田将曜主演映画「帝一の闘」にてフンドシ大蔵シーンの総合プロデュースを担当。
テレビ朝日「ミュージックステーション」への出演。
2019年、ラグピーワールドカップ 2019『日本大会にて、
決勝・準決勝をはじめとして全 6 試合で選手入場演奏を務め、
2022年には、NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」劇伴のレコーディングに参加など、
数多くのメディアやイベントに出演しています。

また、2015年からは海外公演も本格的に開始。 外務省主催海外ツアーを始め、25カ国以上にて公演を行ってきた他、2017年イタリアにて、セリエA「ローマ vs ユヴェントス」の試合前に演奏を実施、日本を代表する和楽器集団へと進化を続けてきました。

「楽しいが響きわたる!」をテーマに、伝統的な文化や奏法にもとづいた 和太飯をはじめとする和楽器の多様な演奏や楽しい音楽活動をお届けします!

図. 配布貸料4ペーシ目

リンク先 No.2

【公演団体名 和太鼓グループ彩 -sai-

【出演者】

和楽器奏者としては、少し変わった経歴を持つ東京大学などを卒業した20~30 代の若手演奏家達を予定しています。

幅広い人生経験や伝統芸能への研究をもとにした新しい感性と確かな実績を もとにした演奏で、楽しく分かりやすい和楽器の公演をお届けします。 本番での出演者は、合計7名となります。

1) 齋 英俊 (和太鼓グループ彩 -sai- 代表)



東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻修 士課程を卒業。

幼少期に長年習っていたピアノの経験と絶対音感、幅 広い和楽器経験、洋楽作曲の理論の研究を生かし、 「和と洋」を組み合わせた作曲活動を行う。

東京都葛飾区主催の葛飾フードフェスタ公式テーマ曲 や北海道留萌市るもい呑涛まつりに楽曲提供するな ど、近年、その活動は話題を呼んでいる。

西川浩平氏に師事し、篠笛・能管を学び、横笛奏者とし て活躍する他、生田流筝曲演奏家である石本かおり氏 に師事し、筝奏者としても活動を広げている。

項目内容 (出演者)

2) 酒井 智彬



東京学芸大学教育学部卒業。

これまで数々のフィールドワークを行い、日本各地に伝 承されるの民俗芸能や神楽をはじめとする伝統芸能を 学び、伝統に立脚した舞台芸術を得意としている。 また、西川浩平氏に師事し、篠笛・能管・龍笛など日本 の横笛を学び、伝統的な観点からの演奏を行う。

〈保有資格〉 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科)

]

リンク先 No.2

【公演団体名

和太鼓グループ彩 -sai-

【出演者】

3) 塩見 岳大



青山学院大学経営学部卒業。

在学時より洋楽器を学び、和太鼓と洋楽器を掛け合わせたエンターテイメントパフォーマンスを得意とする。また、デザイナーとしても活躍しており、印刷物の制作の他、舞台以外にも関わる空間演出・デザインを手掛ける

そのデザインは、PIE International 出版の「1枚で情報を伝えるデザイン」に掲載され、高い評価を得ている

4) 渡辺 隆寬



明治学院大学法学部卒業。

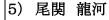
和太鼓をはじめ、伝統楽器であるチャッパやジャンガラ、さらにドラムセットまで幅広く演奏をするユーティリーティプレヤー。

和太鼓の可能性を追求するべく、日本の伝統的なリズムと西洋的なリズムの融合を研究している。

また、自身が一人親家庭で育ったことから、和太鼓を用いた児童支援活動を模索している。

Armin T. Linzbichler氏にドラムセットを学んでいる。

項目内容 (出演者)





明治大学政治経済学部卒業。

日本各地に伝承される長胴太鼓・独特のリズム構成を研究し、その多様性を活かした舞台作りを得意とする。和太鼓グループ彩 -sai- の学生下部団体である、和太鼓グループ彩 -sai- WiNGS の初代代表を務め、単独公演を成功に導いた。

リンク先 No.2 【公演団体名 和太鼓グループ彩 -sai- 】

【出演者】

6) 鈴木 海



武蔵野大学工学部卒業。

日本各地に伝承される大太鼓を用いる伝統芸能の研究を行い、伝統的なものから、舞台芸術としての奏法まで幅広く演奏する大太鼓打ち。

メンバー随一のしなやかさを生かし、どんな奏法でも太鼓の芯を的確に捉える。

彼が演奏する大太鼓ソロは、和太鼓グループ彩の人気曲となっている。

以上、別添記載6名+和太鼓グループ彩よりもう1名(出身地により選定)合計7名で演奏を行う。

項目内容 (出演者)